

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



土浦平和の会

ニュースNo. 236 2011年11月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

歩いた・学んだ 軍都新宿ウオッチング

平和の旅は13日14日の1泊2日、新宿ウオッチングでした。13日午前はスカイバス東京で丸の内から銀座、皇居周辺1周。好天に恵まれて50分の楽しいツーリングでした。午後の靖国神社見学は新宿平和委員会の檜山副会長の案内で神社境内を1時間、「遊就館」は1時間の見学でした。

夕食パーティーは歌舞伎町の居酒屋“舞舞”の個室で飲み放題。一行13人の話題はつきません。泊まりの新宿ワシントンホテルに帰ってからまだ12時まで楽しい懇親は続きました。

14日は午前中は新宿平和委員会の檜山副会長の案内で新宿区平和マップ夏目坂・箱根山コースを歩きました。東京大空襲の惨状を刻んだ喜久井町観音、防空壕で犠牲になった300人を供養する早稲田の観音が当地の人たちの戦災を忘れない慰霊の心を伝えています。

新宿は陸軍の町。旧尾張家下屋敷跡の戸山公園周辺には軍楽隊野外音楽堂跡、戸山学校址、将校会議室跡などたくさんの遺跡が散在していました。



早稲田理工学研内にある慰霊観音

靖国神社は「戦争遺跡」

靖国神社は、その施設自体が「忠君愛国」思想を国民に植え付け、戦争謳歌の「場」としての性格を色濃く持っている。この性格は戦後かなり薄められているとはいえ、いまだに基本的には変わっていない。それは付属の「遊就館」を一通り見て回ると明らかだ。戊辰戦争からサンフランシスコ条約締結までの戦争を時系列的に展示、日本の侵略の反省はなく、天皇を神とする「皇国史観」に彩られ、武器、武具、戦闘機、5000人の合祀者（A級戦犯も）の写真、戦死者の遺書、遺品などが陳列されている。遊就館のリーフには「支那事変」「大東亜戦争」「英霊」などの語が平然と使われ、「米軍を震撼させた挺進爆雷艇（陸軍海上特攻）」や「インパール作戦とインドの独立」「占守島の戦い」などのリーフが並べられて、旧日本軍の戦果を誇る展示がいたるところに見られる。反省の言葉も心情のひとかけからも見えない好戦的な特異ゾーンだ。

とまれ、時代錯誤の靖国だと侮るなかれ。「彼を知り己を知れば、百戦危うからず」だ。（S・H）



遊就館前で記念撮影

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

最大の省庁ビル、防衛省見学

2011年平和の旅（新宿ウォッチング）の最後のコースは、防衛省（市ヶ谷台）の見学であった。正門を入ると目の前に高さ50メートルを超すかと思える巨大な石の階段があり、その上に巨大なビル（庁舎E棟）が建っている。まるで、戦国時代の安土城のような山城だ。連れの一人が言った「何か、テロ集団か敵軍が攻めてくるのに備えているみたいだね」と

見学は外部から、本省などのビルを眺めるだけで、内部が見れたのは、記念館と厚生棟の売店だけであった。大臣室があるA棟の玄関前を通るときはカメラ禁止でピリピリしているさまが伝わってきた。

記念館は元大本営があり、極東国際軍事裁判の法廷になったところ。その講堂に入って、旧軍隊の勲章や軍刀など遺物を見せられた。国民に威厳を見せつけるように金のかかったものだった。午後3時頃なのに、構内をジョギングしたり、アスレチックしたりしている人が何人もいる。この人たちの勤務時間はどうなっているんだろう。6階建ての隊舎だという大きなビルがある。なぜ、こんなに多くの人が構内で生活しなければいけないのだろう。絶えず、戦闘態勢をとっているのだろうか。国の財政が厳しいと年金や健保の国負担分が削られる一方、防衛費は仕分けの聖域として対象ともならず、膨大な税金をぬくぬくと浪費している様がまざまざと見えた。

（岡田安正）

この新聞意見広告は、11月20日茨城新聞に掲載されたものです。 縮尺版です

意見広告

さようなら 東海第二原発

県民のみなさんへ

- 危険な老朽原発** 33年稼働の古い東海原発は事故が心配です。天災(今回は地震と津波)と人災の事故、これらが重なる事故など、およそ防ぐことは不可能です。「想定外だった」という都合の良い言い訳は許されません。
- 最終処理ができないのが放射性廃棄物** 稼働し続けるのは狂気の沙汰です。原発再稼働は許されず廃炉しなくてはなりません。
- 電力エネルギー** 原発エネルギーに頼らず、人と環境にやさしい自然エネルギーへの転換を求めます。電力需要は国民の省エネで賄えます。
- 原発行政問題** 原発稼働自治体に電力会社が「お金」を納とし原発を推進するのは正しい政治のあり方ではありません。原発問題が国民全体の課題です。
- 補償問題** 今回の事故に関わる全ての賠償は、東電と国が負わなければなりません。

背筋がソツと 東海第二原発

3月11日の津波では防波壁にあたり70センチの所まで押し寄せました。もし、あと1メートル高かったらと思うと・・・

村上東海村長 「脱原発」を提案

①地震多発列島に54基の原発を極端に増やしていることは正統な方法ではない。日本の社会基盤の中で、原発を持つことは危険が大きすぎるのでやめるべきだと思います。(10月2日 記者会見)

②私たちがふるさと、愛と誇りを持って築き上げた、子どもたちの未来と、原発マゼットは等価交換できない。(8月2日 記者会見)

③7000キロ圏内に100万人の人口を抱え原発立地条件として不適切かつ移行化している」として脱原発の提案を申し入れました。(10月11日 表明)

県民の意思は「原発いらない」

茨城大学地域社会科学研究センター調査(2011年6月)より作成

原子力発電には不安な面が多い

同意 44%

同意以上 52%

同意以下 48%

そのうち「同意」 53%

東海第二原発の今後のあり方について

その他 11%

運転停止したまま廃炉 32%

運転再開を望む 5%

運転再開を望むが廃炉まで待たない 13%

老朽化した原子炉を使い続けるのは非常に危険である

同意以上 9%

同意以下 91%

同意以上 17%

同意以下 76%

危険な原発との同居はもうごめんです

茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川 5-127-281

E-mail: ibahei@amber.plata.or.jp Tel/Fax: 029-251-2806

活動ごよみ

11・13、14 平和の旅（新宿ウォッチング）
11・20 脱原発県民集会
（水戸市県青少年会館）

11・22 平和の会理事会（コープ 15時）
12・8 母連「赤紙」配り（土浦駅）
14時からペデストリアンデッキです

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています
平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください